



令和 5 年 9 月 29 日

デパート・スーパー食品売場のライブ中継による 食品ロス削減の取り組み「のこり福キャンペーン Part2」を実施！

◆発表のポイント

- ・ 昨年 10 月に実施したデパート・スーパー等の食品売場のライブ中継による食品ロス削減の取り組みの続編として、引き続き今年 10 月に「のこり福キャンペーン Part2」を実施します。
- ・ 期間は、食品ロス削減月間（10 月 1 日開始～31 日）、参加事業者はデパート・スーパー等 5 事業者です。
- ・ 割引食品の購入・てまえどり（※）の啓発資材（ポスター等）を参加店舗の食品売場等に掲示して、食品ロス削減への協力を呼び掛けます。
- ・ キャンペーン中の利用実績データに基づき、食品ロス削減効果等を検証します。
- ・ AI による食品の自動発注システムを導入している一部の参加店舗を対象に、食品販売に関するビッグデータ・データサイエンスを活用して食品ロス削減に役立つ科学的知見をとりまとめます。また、本キャンペーンで使用するアプリ・啓発資材との相乗効果を併せて検証します。

※商品棚の手前にある販売期限の迫った製品を積極的に購入する取り組み

岡山大学が主体となって昨年 10 月に実施したデパート・スーパー等の食品売場のライブ中継による食品ロス削減の取り組みの続編として、引き続き今年 10 月に「のこり福キャンペーン Part2」を実施します。岡山大学低炭素・廃棄物循環研究センター、岡山大学公認クラブ（校友会）の DS（データサイエンス）部・環境部 ECOLO の三者協働で企画・運営に当たり、キャンペーン期間は食品ロス削減月間の 10 月 1 日～31 日です。

本取り組みでは、趣旨に賛同いただいた 5 事業者の食品売場にライブカメラを設置し、昨年度開発した中継画像（静止画像）を配信するスマートフォン用のアプリのデザイン等を改良して使用します。中継画像は、10 月 1 日より「のこり福キャンペーン」ホームページ（<https://www.nokorifuku.com>）にて配信します。また、取り組みの一环として、割引食品の購入・てまえどりの啓発資材（ポスター等）を参加店舗の食品売場等に掲示して、食品ロス削減への協力を呼び掛けます。

本キャンペーン期間中の利用実績データ等に基づいて、食品ロス・温室効果ガスの削減効果を検証します。また、AI による食品の自動発注システムを導入している一部の参加店舗を対象に、食品販売に関するビッグデータ・データサイエンスを活用して食品ロス削減に役立つ科学的知見をとりまとめるとともに、本キャンペーンで使用するアプリ・啓発資材との相乗効果を併せて検証します。



PRESS RELEASE

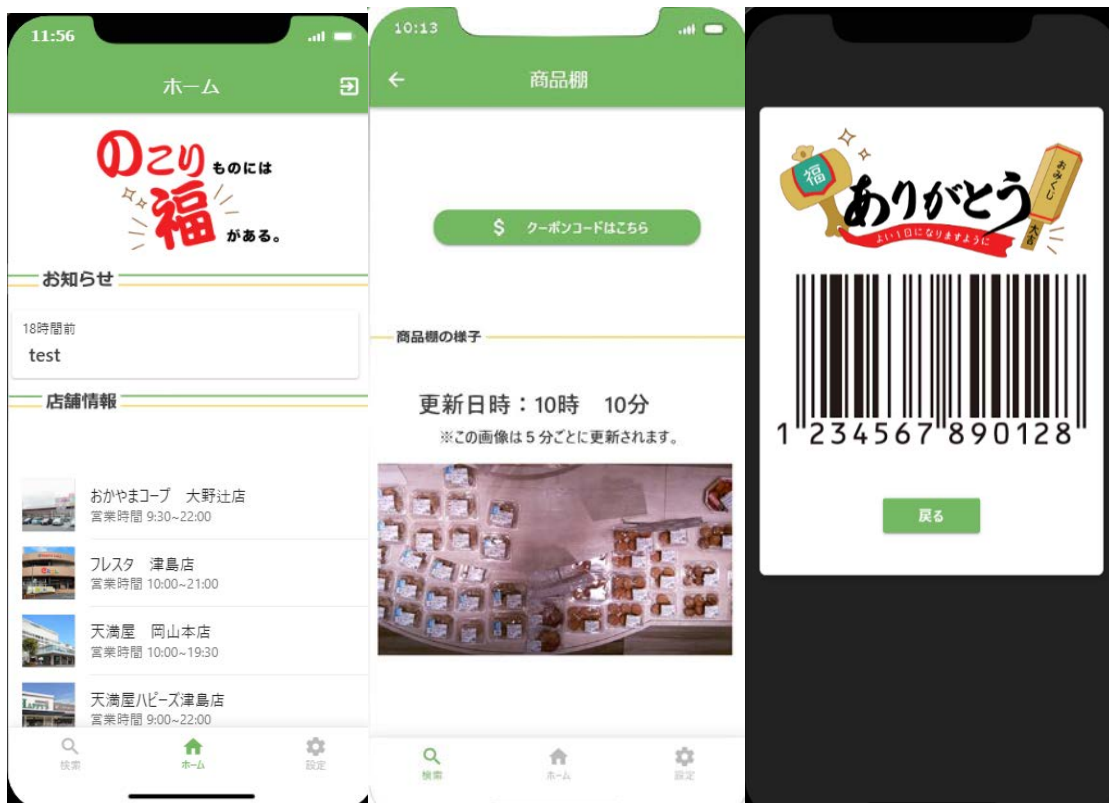
<取り組みの背景・目的>

岡山県によれば、県内の 2019 年度の食品ロス発生量は約 12.7 万 t、うち食品小売業から 1.1 万 t と推計されており、その発生抑制・利活用の推進が大きな課題となっています。

岡山大学では、昨年 10 月の食品ロス削減月間にデパート・スーパー等の食品売場のライブ中継による食品ロス削減の取り組み「のこり福キャンペーン」を実施しました。同取り組みでは、幅広い市民の方々にお買い得な割引食品の情報を随時提供して見える化することを通じて、その購入をサポートし、売れ残りを防ぐことを目指して、趣旨に賛同いただいた店舗の食品売場にライブカメラを設置し、その中継画像（静止画像）を配信するとともに、画像内の商品名・価格・割引率等のデータを提供するスマートフォン用のアプリ（下図）を開発しました。キャンペーンの実施により、参加店舗のうち 3 店舗において前年同月比で 21～56%の食品ロス削減効果を達成しました。

一方、食品小売業における食品ロス削減を推進するにあたっては、「てまえどり」の普及啓発、AI を用いた食品自動発注システムによる発注最適化等の取り組みも重要な視点です。

本年度は、上記ライブ中継アプリによる割引食品の情報配信に加えて、「てまえどり」の啓発、AI を用いた食品自動発注システムの効果検証を併せて実施し、多面的な取り組みによるさらなる食品ロス削減推進を目指します。





PRESS RELEASE

<取り組みの内容>

- 岡山大学が主体となって昨年 10 月に実施したデパート・スーパー等の食品売場のライブ中継による食品ロス削減の取り組みの続編として、引き続き今年 10 月に「のこり福キャンペーン Part2」を実施します。
- 岡山大学低炭素・廃棄物循環研究センター、岡山大学公認クラブ（校友会）の DS（データサイエンス）部・環境部 ECOLO の三者協働で企画・運営に当たり、キャンペーン期間は食品ロス削減月間の 10 月 1 日～31 日です。
- 趣旨に賛同いただいた 5 事業者の食品売場にライブカメラを設置し、昨年度開発した中継画像（静止画像）を配信するスマートフォン用のアプリのデザイン等を改良して使用します。中継画像は、10 月 1 日より「のこり福キャンペーン」ホームページ（<https://www.nokorifuku.com>）にて配信します。
- 参加事業者・店舗は、（株）天満屋岡山本店、岡山大学生協同組合・ブックストア及びピオーネショップ、生活協同組合おかやまコープ・大野辻店、（株）天満屋ストア・ハピーズ津島店、（株）フレスタ・フレスタ津島店の 5 事業者の店舗です。
- 一部の参加事業者・店舗では、キャンペーン期間中にシステムを利用いただいた方に割引・ポイント還元のコピーを発行します。利用者は、システム上に表示されるクーポンを店舗レジで提示することで特典を受けられます。また、クーポン利用実績 1 件当たり〇〇円の寄付金が食品ロス削減に取り組む NPO 法人フードバンク岡山（2012 年設立）に寄付されます（参加事業者の会員登録が必要な場合があります）。
- 取り組みの一環として、割引食品の購入・てまえどりの啓発資材（農林水産省が公開する小売店頭用啓発資材等を使用予定、下図）を参加店舗の食品売場等に掲示して、食品ロス削減への協力を呼び掛けます。



- 本キャンペーン期間中の利用実績データ等に基づいて、食品ロス・温室効果ガスの削減効果を検証します。
- AI による自動発注システム分野で国内トップシェア（※）の実績がある（株）シノプス、及び同システムを導入した（株）天満屋ストアの協力により、食品販売に関するビッグデータ等を提供いただき、データサイエンスを活用して食品ロス削減に役立つ科学的知見をとりまとめます。また、本キャンペーンで使用するアプリ・啓発資材との相乗効果を併せて検証します。
- 本キャンペーン期間終了後、参加事業者の方々と情報共有・意見交換を図り、食品ロス推進に向けた課題・解決策等の議論を深め、食品ロス削減・利活用の取り組みの定着・さらなる拡大を図ることを目指しています。
- 本キャンペーンの名称は、環境部 ECOLO の部員・ノートルダム清心女子大学 3 年生藤井朱梨さんが提案した案を採用しました。

※ 2021 年実績。「2022 年版 次世代ストア&リテールテック市場の現状と将来展望」（富士経済）自動発注システムカテゴリのマーケットシェア



PRESS RELEASE

<社会的な意義>

昨年度に引き続き、本取り組みで開発したアプリにより、幅広い市民の方々にお買い得な割引食品の情報を見える化する事を通じてその購入をサポートし、売れ残りの積極的な購入＝食品ロス等の削減の意識・習慣が定着することが期待されます。

また、上記ライブ中継アプリによる割引食品の情報配信に加えて、「てまえどり」の啓発、並びにAIを用いた食品自動発注システムの効果検証等を通じて食品ロス削減に役立つ科学的知見をとりまとめ、これら多面的な取り組みによってさらなる食品ロス削減推進を図ることができるものと期待されます。

キャンペーン終了後に参加事業者の方々とうこうした情報の共有・意見交換を図り、食品ロス推進に向けた課題・解決策等の議論を深め、食品ロス削減・利活用の取り組みの定着・さらなる拡大を図ることを目指します。

■参考

岡山市学生イノベーションチャレンジ推進事業・岡山食品ロス削減プロジェクト

「のこり福キャンペーン」ホームページ（9月29日～公開予定）

URL：<https://www.nokorifuku.com>

■研究資金

本事業は令和5年度岡山市学生イノベーションチャレンジ推進事業の補助金、及び科学研究費助成事業 挑戦的研究(萌芽)「エシカル消費に関するベイジアンモデリング及び行動変容への応用に関する実証研究」で実施しました。

<お問い合わせ>

岡山大学学術研究院環境生命自然科学学域

准教授 松井 康弘

(電話番号・FAX) 086-251-8991



岡山大学は持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。

食品売場
ライブ中継
アプリで
割引商品情報
GET!

お得な商品を「見える化」して
食品ロスを防ぐ!

岡山食品ロス削減プロジェクト

割引食品ライブ中継アプリ

のこり福



のこり福

キャンペーン Part 2

キャンペーン期間
2023年

10/1日～31日

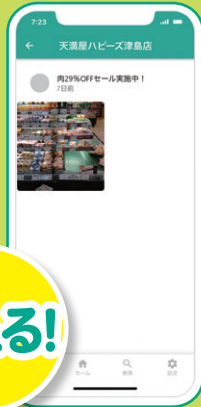
【食品ロス削減月間】

みんな参加してね!



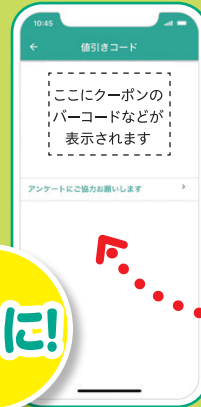
わかる!

お店情報・割引情報
を表示



見える!

売場状況ライブ中継^{※1}
検索も!



さらに!

割引・ポイント還元等^{※2}
クーポン発行

お得なうえに
食品ロスを減らせる

さらに

クーポン利用1回につき
食品ロス削減に取り組む
NPO法人フードバンク岡山に
〇〇円寄付されます



※1 静止画を随時更新。アプリのダウンロードや利用に伴う通信費(パケット代)はご利用者様のご負担となります。
※2 事業者・店舗により異なります。岡山高島屋、森のマルシェはクーポンの発行はありません。

参加事業者・店舗 ★印の店舗でクーポン利用で寄付されます

- (株)天満屋ストア ハピーズ津島店★ ●(株)フレスタ フレスタ津島店★
- (株)天満屋岡山本店 ●岡山大学生協同組合 ブックストア、ピオーネショップ
- 生活協同組合おかやまコープ 大野辻店

取り組み

岡山県内の食品小売業において期限切れ等により発生する食品ロスは年間約1.1万トン(2019年度)と推定されています(岡山県推計)。

本キャンペーンは、幅広い市民の方々に買い得な割引商品の情報を「見える化」してその購入をサポートすることを通じて、売れ残り=食品ロスの削減を目指しています。また、データサイエンスを用いたシステム利用実績データ等の解析等を通じて食品ロス

〈企画・運営〉

岡山大学低炭素・廃棄物循環研究センター

岡山大学公認クラブ(校友会)DS(データサイエンス)部、環境部ECOLO、岡山大学SDGsアンバサダー

岡山市学生イノベーションチャレンジ推進事業・岡山食品ロス削減プロジェクト「のこり福キャンペーン」ホームページ <https://www.nokorifuku.com/>

※本キャンペーンの名称は環境部ECOLOの部員・ノートルダム清心女子大学3年生藤井朱梨さんが提案した案を採用しました。

〈連絡先〉

岡山大学学術研究院・環境生命科学学域 准教授・松井 康弘
(電話番号・FAX)086-251-8991
(メール)matsui@okayama-u.ac.jp



岡山大学
OKAYAMA UNIVERSITY

